

市長の ふれあい訪問

●今回の訪問先●

ふれあい塾

「老いを感じさせない素晴らしい人生を生きる」を理念とし、手芸・カラオケ・料理・芸能の4部門を高齢者の生涯学習の場として開塾。教えたり教えられたりしながら楽しい塾生活を送っている「ふれあい塾」のみなさんを岡村市長が訪問。その活動内容などをお聞きしました。



市長 みなさんこんにちは。いよいよ4月、入学式を迎える時期になりました。今月の市長のふれあい訪問は、本蓮にあります「ふれあい塾」のみなさんです。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに塾長の平林さんにお聞きしますが、ふれあい塾とは、どのような塾なのでしょうか。

平林 地域の方が1日楽しく過ごせる場を提供しようと思ひ、開塾しました。また、手芸・カラオケ・料理・芸能の4部門を高齢者向けの生涯学習の場として自宅を開放しています。入口のれんを1回くぐれば、お茶代として300円をいただいています。

市長 みなさんは、どのようなことを担当されているのですか。

押田 カラオケ部門を担当しています。自分で歌



たい曲のテープを持参していただき、機械の操作がわからない人に操作方法を教えています。ここでは大きな声で歌えますので、ストレスの解消になるとみなさんに言っていたとき、大好評です。

村上 手芸を担当しています。みなさん、いろいろな特技を持っているので、教えたり教えられたりしながら、羽子板やストラップ、プレスレットなどを作ったりして、楽しい時間を過ごしています。

中里 私は、芸能部門を担当しています。町会会館で活動している踊り愛好会に参加していますが、ふれあい塾でも踊れるので、毎週楽しませていただいています。また、病院などでボラ

ンティアで踊ったりもしていますが、みなさん一緒になって楽しんでくれました。ある患者さんは、薬より効果があると言ってくれましたよ。

中沢 料理部門を担当しています。3月は、ちらし寿司を作りました。最近は核家族が進んでいますので、ここでは、大きなお鍋などを使い、一緒に作って一緒に食べる。それが楽しいですね。

市長 それぞれの方が、得意分野を持ち寄って、教えたり教えられるところが、良いことですね。ところで、毎回何人くらい集まるのですか。

平林 月・火・金・土曜日を開塾していますが、4部門のほかに、着付け教室や講演会なども行っていますので、多い時は50人くらい集まります。

市長 市政に関する話でよろしければ、ぜひ、私にも講演させていただきます。

塾の理念は「老いを感じさせない素晴らしい人生を生きる」と聞いています。

平林 一人で勉強や習い事をやるより、大勢が集まり、仲間と気楽にいろいろな事ができたらいいなと思います。また、地域の方と一緒に勉強しながら過ごせたらいいなとも思っています。

市長 自分たちが主体となって活動するから何事も楽しくできるし、それが大事ですよ。みなさんが、キラキラと輝いてみえます。

この塾には、何か決まり事はあるのですか。

平林 はいあります。「その場にはいない人のうわさ話はない」、余計な気を使わせないよう「他人の分まで屋食を持参しない」という決まり事があります。

市長 最後に市民のみなさんにお伝えしたいことなどがありましたらお聞かせください。

平林 「年をとったら一人で話をする」。そして、「夢を持って、老いを感じさせない素晴らしい人生を生きる」をモットーに活動していますので、ぜひみなさんも「ふれあい塾」に遊びに来てください。

市長 高齢社会の生き方の一つの見本となるよう、これからも頑張ってください。「ふれあい塾」が繁盛しますようお願いいたします。今日はありがとうございました。

